

番 号 1

平成20年 9月 5日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 6 番 安藤 武

		平成20年 9月 5日 午前 8時35分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
<p>農 業</p> <p>危機的な状態から脱出するための施策は何か。</p> <p>①産地づくりに関する事業 複合化による強い経営に変えるため、市単独の作目誘導の助成は考えられないか。</p> <p>②組織経営に関する事業 地域の担い手を確保して、小規模農家についても組織化による経営改善を図る支援策が必要と思うが（集落ビジョン対策）。</p> <p>③仙北市農業の展望する中、長期計画はあるのか。</p> <p>消 防</p> <p>団員不足から消火活動に支障を来たしている。</p> <p>①10年後の団員数の予測は。</p> <p>②団員の定年延長の考え方と女性団員の応募状況は。</p>			
上記のとおり通告します。			

番 号 2

平成20年 9月 5日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 13 番 田 口 喜 義

		平成20年 9月 5日 午前11時35分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
1. 仙北市地域医療について 2. 病院改革プランについて 3. 経営改善について 4. 田沢湖病院の診療所化について ・仙北市産業への影響について ・自然災害の備え（火山・玉川ダム等河川）について 5. 救急再開のため医師確保はどのように進めているか			
上記のとおり通告します。			

番 号 3

平成20年 8月31日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 8 番 浦 山 敏 雄

		平成20年 8月31日 午前10時00分 受領	
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問	
発 言 の 要 旨		備 考	
1. 市立田沢湖病院（診療所化）の改革に対する市長の方針について			
2. 公共工事の入札方式について			
3. 第3セクターの現在の状況と今後の展望について （主な内容の資料）			
上記のとおり通告します。			

番 号 4

平成20年 9月 5日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 10 番 青 柳 宗五郎

		平成20年 9月 5日 午前 8時30分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
農業振興 ①減反活用こそ農家が生き残れる方法ではないか。 ②臨時駐車場料金の不適切な取扱、管理運営について。		
上記のとおり通告します		

番 号 5

平成20年 9月 2日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 22番 平岡 均

		平成20年 9月 2日 午前11時35分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
1. 後期高齢者医療制度の問題点に対する市の対応について ・医療費負担はすでに限界に達している。		
1. 農政について ・農業者がもたらす各分野への影響について、それぞれの反応を伺いたい。 ・市独自の一般財源対応は可能か、補填せよ。		
1. 男鹿和雄展について ・是非、成功をさせて世界に仙北市を知らしめせ。		
上記のとおり通告します。		

番 号 6

平成20年 9月 5日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 21 番 佐々木 章

		平成20年 9月 5日 午前 9時15分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>(1) 「市民と協働の町づくり」について イ、NPOの活用について。 ロ、指定管理者のあり方について。 ハ、各種委員会の機能について。</p> <p>(2) 仙北市における観光課題について イ、田沢湖・角館という「観光ブランド」が一体となって生かされているか。 ロ、春・夏の観光客減は、地域経済に深刻な影響を与えているが、秋の紅葉シーズン以降の誘客対策は。 ハ、補助団体である3地区の観光協会のあり方については。</p> <p>(3) 市立の二病院について イ、医療改革会議の論点と病院の存立について。 ロ、田沢湖病院・角館総合病院の現状と今後の見通しについて。</p>		
上記のとおり通告します		

平成20年 9月 4日

仙北市議会議員 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 1 番 田 口 寿 宜

		平成20年 9月 4日 午前 9時50分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>◎市立病院の今後の在り方・方向性について</p> <p>1. 現在までの病院経営に対する反省点は 平成19年度病院事業会計決算が出された。2つの市立病院の累積欠損金は、市立田沢湖病院が約4億円、角館総合病院が約11億円とそれぞれ増加している。様々な要因のもと、このような状況になったと考えるが、根底まで原因を究明しているのか。また、どのような改善努力をしているのか。現在までの病院経営に対する反省点も含め伺う。</p> <p>2. 市立田沢湖病院の診療所への規模縮小について 現在、市では、市立病院等改革推進計画策定委員会を設置し、公立病院改革プランの策定を進めている。その中で、角館総合病院を基幹病院とし、田沢湖病院を診療所に規模縮小するという方針が出された。この事について、市民は混乱し、各種分野において様々な影響を及ぼすのではないかと、大変不安な日々を送っている。そこで次の事を伺う。</p> <p>1) 今後、市民に説明をし意見を募るものと思うが、方針を出されてから市民の意見は反映されるのか。市民不在のまま議論が進んでいると考えるが、この事について市長はどのように考えているのか。</p> <p>2) 診療所に規模縮小された場合、各種分野及び重点プロジェクトに及ぼす影響をどのように考えているのか。</p> <p>3) 市民は病院として田沢湖病院を存続して欲しいと強く願っている。病院として存続するには色々な方法があると考えられるが、様々な角度から検討されたのか。</p>		
上記のとおり通告します		

番 号 8

平成20年 9月 4日

仙北市議会議長 佐藤 峯 夫 様

仙北市議会議員 7 番 門 脇 健 郎

		平成20年 9月 5日 午前 8時30分 受領
発 言 通 告 書	発言の種別	一 般 質 問
発 言 の 要 旨		備 考
<p>1. 市有財産を精査し有効活用（処分を含む）を考えるべきと思うが、所見を伺う。</p> <p>(1) 市有財産（動産、不動産）で、遊休財産とも言うべきものが数多いが、その状況は。</p> <p>(2) その活用計画があったら箇所毎の計画を。</p> <p>(3) 財政が非常に厳しい今日、売却も一策と思うがどうか。</p> <p>2. 内陸線の存続は仙北市の振興に欠くべからざるもの、今一度市長の所見を問う。</p> <p>(1) 一番心配されるのは財政負担の問題だが、先日の知事との意見交換時、県はこれまでと同様負担するとの山田課長の話があったが、市長の所見を問う。</p> <p>(2) 観光の振興という点から市長は内陸線の存在をどう考えるか。</p>		
上記のとおり通告します		